

義手に関する情報を共有しよう！

義肢装具技術研究部

義肢装具技術研究部では、補装具の普及に向けて情報を提供する活動を行っています。

義手の装着をこれからチャレンジする方やベテランの義手ユーザー、当事者のご家族、そして病院で働く医療専門職から、義手に関する情報の入手が難しいとよく聞きます。義手のリハビリテーションをしている病院は全国で限られており、そのため義手を良く知っている専門家が少ないのです。

義手ってどうやって動くのか、仕組みをしりたいという質問や義手に関する情報がどこに掲載されているのか、だれに聞けばいいのか、教えてほしい、といった質問、そしてユーザー同士で交流したいというリクエストも、よく聞きます。こういった質問やリクエストに応えるべく、近年、義肢装具技術研究部ではイベントを開催し、義手に関する情報の発信とユーザー同士が交流できるような機会を提供してきました。

2019年に開催した筋電義手交流会には90名の参加者が集まりました。義手に関する講演や義手を実際に動かしてみる体験、そして義手でのゲーム大会などを行いました。それ以降、オンラインでミーティングを続け、参加者は毎回130名を超えています。

義手の使い方は様々で、個人によって目的が異なることがあります。そこで、当事者の方が、どのように義手を使っているのか、個人の経験を話し、それをみんなで共有することが大切です。義手に関する専門知識を、学術的な集まりだけでなく交流会やオンラインセミナーという新しい形で開放すると、当事者も参加しやすく、医療従事者も実際に見て学べる機会になります。

義肢装具技術研究部では、これからも義手に関する情報を発信していきます。